

はじめに

2019年度は、ラグビーのワールドカップが自国開催され、日本代表チームが大活躍を見せました。本学ラグビーフットボール部出身者からは3名が代表に選ばれ、中でもリーチ・マイケル氏はチームのキャプテンという大役を務めました。予選プールでは強豪チームであるアイルランド、スコットランドを撃破し、決勝トーナメントに導く快挙には心を打たれた方も多かったのではないのでしょうか。準々決勝では、優勝した南アフリカと対戦して敗退したものの、過去最高となるベスト8に勝ち上がったことは称賛に値すると考えます。2020年1月29日には、リーチ・マイケル氏を湘南キャンパスにお招きし、第24回チャレンジセンターセミナー『「ONE TEAM」の精神から学ぶ』の中で、学生時代の恩師であられる木村秀由ラグビーフットボール部監督（体育学部競技スポーツ学科教授）との対談が実現しました。

東京オリンピックを迎える前に、山下泰裕副学長が日本オリンピック委員会（Japanese Olympic Committee：JOC）の会長ならびに国際オリンピック委員会（International Olympic Committee：IOC）委員に選ばれ、全日本学生柔道体重別団体優勝大会では男女柔道部が史上初のアベック優勝を飾るという快挙もありました。全日本大学駅伝優勝、全日本吹奏楽コンクール金賞など活躍や、ブリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジで世界2位という成果があった年でした。しかしながら、3月以降は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、予定されていたイベントはほぼ中止となり、長年続けてきた海外研修航海は中止とする判断を行いました。また、学位授与式も式典が中止となり、ビデオによるメッセージを配信し、三密を避けた卒業証書授与などが行われました。

さて、本学は公益財団法人大学基準協会による認証評価を2017年度に受審し、次回の7年後2024年度に向けて改善を進めているところであります。2019年度は、大学評価委員会（委員長：中嶋卓雄学長補佐）で、教職員や外部の有識者に加えて、湘南学生会長の佐野友洋さんとチャレンジセンター3.11生活復興支援プロジェクトでリーダーを経験した杉山愛さんをお招きする機会が設けられました。大学にとって大きなステークホルダーとなる学生本人から、ご意見やご提言などを直接聞くことができる初めての試みとなりましたが、大変有意義なものであったとの報告を受けております。今後も、このような改善・改革を継続すべきであると考えます。また、東海大学教育審議会の下に新たに教育評価ワーキンググループ（グループ長：川上哲太郎学長補佐）を発足させ、内部質保証体制の強化を目的とした制度改革やそれに伴う組織改革について議論を進めていただきました。ここでの議論の結果を受けて、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの3つのポリシーに則した適切な教育指導が実際に行われているかを点検する体制を構築していきます。また、教育目標を達成するための教育課程が適切であり、その実践・結果・評価の有機的な展開に向けた内部組織を整備・運営することが求められます。これらについて、2020年度には内部質保証検討委員会を立ち上げ、教学マネジメントシステムを確立していくことを目指します。

総合的業績評価委員会（委員長：室田憲一教養学部教授）においても、学部・センター等における評価規定の改定について点検するとともに、新たな業績評価体制のあるべき姿について検討を行いました。また、昨年度から科研費への申請の際に、研究業績についてはresearchmapの登録情報が参照される体制に移行しました。2020年2月にresearchmap V2への大型アップグレードが適用され、AIを利用した研究業績の登録機能が追加されるなどの大幅な改修が行われました。今後は、2022年の学部改組およびカリキュラム改定に合わせて、教員活動情報システムの改修を行い、研究業績についてはresearchmapのAPI機能を活用

してデータを取り込めるように改良し、承認・評価作業が省力化できるような改善を行う計画です。一方、教員組織や教員個人の努力が積み重ねによって成し遂げられた資質向上によって、評価値が高い値で飽和している状況を鑑み、現状の基準について再考すべきであるとのこと指摘を受けました。今後は、厳しくなりつつある外部評価にも対応できる基準について議論を行っていただくことを期待いたします。

関係各位におかれましては、新型コロナウイルス感染症への対応などで、ご苦勞が多いことと存じますが、ぜひとも本報告書をご一読いただき、教育ならびに研究のPDCAサイクルの中でご利用いただくことをお願いいたします。また、ご意見やご提案などがございましたら、お届けいただければ幸いです。

2021年1月

東海大学学長

山田 清志